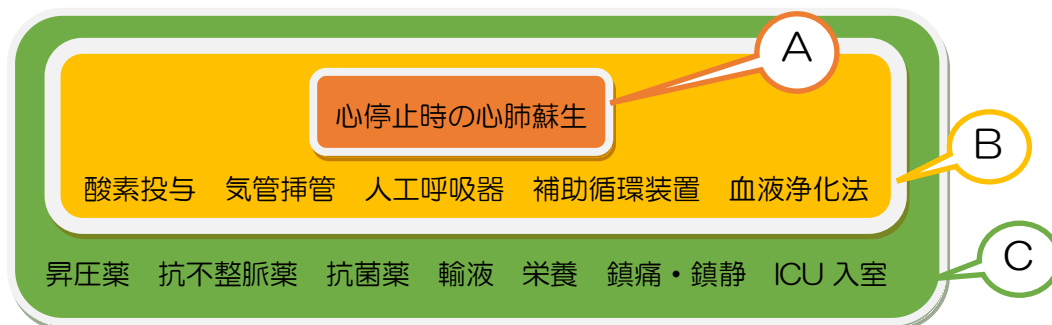




DNAR の患者さんの栄養はどのように考えればよいのか

突然ですが問題です。DNAR 指示があった場合に「行わない行為」を示す範囲としてもっとも適切と言えるのは下の図の A～C の内どれでしょうか？



日本集中治療医学会は 2016 年 12 月 20 日の日本集中治療医学会雑誌にて Do Not Attempt Resuscitation (DNAR) 指示のあり方について次のように勧告しています。

「DNAR 指示は心停止時のみに有効である。心肺蘇生不開始以外は集中治療室入室を含めて通常の医療・看護については別に議論すべきである。」

この文で述べられている「通常の医療・看護」とは、心肺蘇生以外の酸素投与、気管挿管、人工呼吸器、補助循環装置、血液浄化法、昇圧薬、抗不整脈薬、抗菌薬、輸液、栄養、鎮痛・鎮静などのことを示しています。したがって、問題の正解は“A”となります。

「DNAR=医療・看護の撤退」ではありません。
TPN や経鼻・胃瘻経管栄養などの栄養療法が必要かどうかは
DNAR とは別に本人・家族とともに検討していく必要があります。



今月のNST 学習会

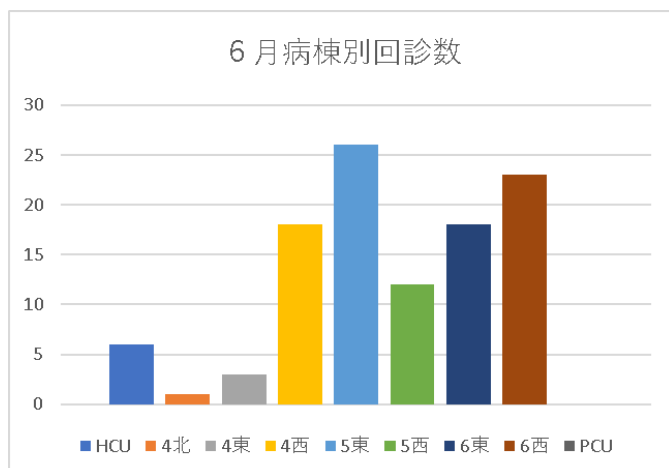
今月の NST 学習会は 7 月 10 日に「NST 入力の仕方」をテーマに行いました。みさと健和病院は 7 月 1 日より新しい電子カルテになったばかり。講師の久野看護師には、新しいカルテでの入力方法についての新たにスライドを準備していただき、大変わかりやすい学習会となりました。ありがとうございました。

次回の NST 学習会は 9 月 11 日 17:30～『検査データと栄養』を予定しています。みなさまのご参加お待ちしております。



6 月分の実績

	TPN(延べ人数)	EN(延べ人数)	PEG 造設数	新規介入数	延べ回診者数
6 月	144	299	3	29	107



TPN・・・中心静脈栄養（高カロリー輸液）
EN・・・経腸栄養（経鼻・胃ろう等からの経管栄養）

★NST 対象患者さんは、毎週の体重測定と SGA の入力をお願いします。

★OHAT 導入にあたり、わからない点や困っている点などありましたら、リンクナースまたは NST 事務局までご相談ください。

文責：NST 専従 管理栄養士 谷岡 恵